

# 報 廣 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 No.150号

## 町の人口

(49年11月末日現在)

男	4,318人
女	4,782人
総人口	9,100人
世帯数	2,782世帯

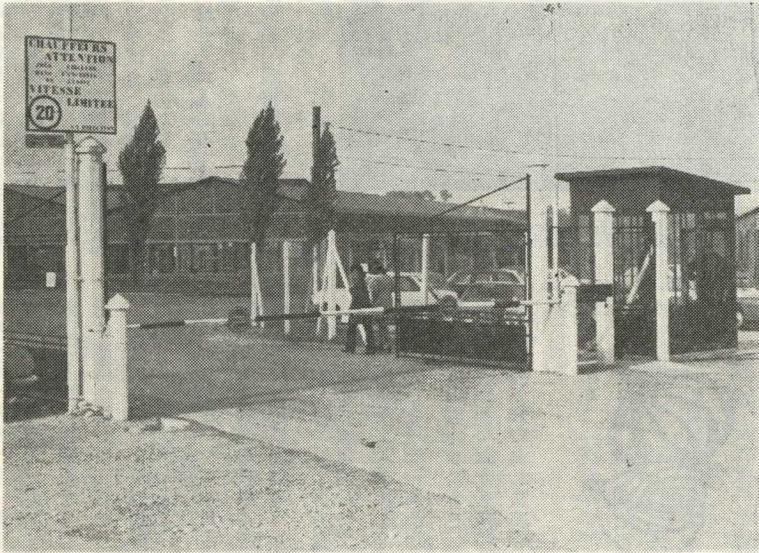
## 渡欧を終えて

町長 池 永 輝 昭

とじて保存して下さい。

東の空が白む頃窓を走る外の景色は日本の東北地方の田園風景と  
 なら変わりなくまばらに点在する  
 民家の建物だけが特有の白っぽさ  
 でイタリアを思わせる。  
 十月九日定刻午前九時に列車は  
 映画「終着駅」で我が国にも紹介  
 されたローマのテルミーニ駅に到

着する。  
 中央出口前に日本交通公社の貸  
 切バスが既に我々の到着をガイド  
 と一緒に待っていてくれる。ライ  
 センスガイドのイタリア人ディナ  
 ・サンタローサ女史が流暢な日本  
 語で「皆さんようこそローマにい  
 らっしゃいました」と歓迎の挨拶



タイル工場正門 【ローマにて】

のあと、古代ローマの歴史や潜在  
 中の注意や、買物の場所方法等を  
 詳しく説明してくれる。

車はガイド助手の日本人金田氏  
 の案内で古代ローマの都会生活の  
 中心地として栄えたフォロ・ロマー  
 ーノの遺跡を最初にコロッセオ円  
 形闘技場カタコンベ(地下墓地)  
 カラカラ大浴場、マツシモ競技場  
 パンテオン、真実の口の広場等の  
 名所史跡を午前中に案内してくれ  
 る。

我々の先祖がまだ穴居生活をし  
 ていた弥生時代と同じ地球上に近  
 代都市機能を揃えたローマ帝国が  
 存在していたとは信じ得ない程の  
 すばらしい建物、遺跡ばかりであ  
 る。昼食にはイタリア料理をたっ  
 ぷりと味あわせてくれる。ここで  
 もフランス同様食事にずいぶんと  
 時間をかける。

食後、車は再び我々をヴァチカ  
 ソ市のサン・ピエトロ大寺院え  
 と案内する。面積四四ヘクタール  
 人口わずか二千人のこのカトリッ  
 ク教会の長である法王の統治下に  
 ある。

この大寺院は世界各地のキリス  
 ト教信者の信仰の中心地であり、  
 地球の凡ての果てから来る巡礼者  
 の目標であるとともに、我々観光  
 客にとっても、その建築美と雄大  
 さと、中に所有する芸術の無限の  
 豊富さは暫し見る者をして恍惚と  
 させる。

なかでもミケランゼロの傑作  
 「ピエタ」の聖母マリアの悲しみ  
 と憂いを含んだ清純な姿は今でも  
 私の脳裏から離れない。車は最後

に我々をトレヴィの泉へと案内し  
 てくれる。伝説では泉を背にして  
 コインを投げると再びローマを訪  
 れることができるとして全員が  
 次々とコインを投げて午後四時過  
 ぎにホテルパラティノに到着、荷  
 物を部屋に置いて青柳君と二人で  
 イタリアの日本大使館を訪問、受  
 付にて田中六助先生の紹介状を手  
 渡すと竹内大使が直接会って下さ  
 る。

来伊の目的を詳細に説明すると  
 中村一等書記官を部屋に呼び各所  
 に電話連絡をして我々の目的が達  
 せられるべくこまごまと手はずを  
 して下さる。

明日午前十時国立美術学校のニ  
 ーノ・カルゾ教授が私達に会っ  
 下さるとの約束が出来たときには  
 胸のときめきを抑えることができ  
 なかった。

その人はエットレ・ソットサ  
 ス氏やピエロ・フォルナセッティ  
 氏と並んで、今イタリアの著名な  
 陶器関係のアーティストの一人だ  
 あることを渡欧前の予備知識とし  
 て知っていたからである。

明日と明後日の視察日程の手は  
 ずをすべて整えていただき湯茶等  
 ご馳走になりながらイタリアの政  
 治経済の現状についてお話をし  
 下さる。

国内でも私は、こんなに親切に  
 していただいたことはない。  
 まして異国での親切は生涯忘れる  
 ことはできないと思う。

午後七時過ぎ暇を告げてホテル  
 に帰る。

次号へつづく